



議会 だより

千早赤阪
ちはやあかさか

特集：代表質問・当初予算特別委員会質疑

一般質問

田村 陽 議員

- ・マイナンバーを利用したコンビニ交付は
- ・コンシェルジュの設置を
- ・消防団は存続できるのか
- ・メディアリテラシー教育の重要性
- ・村道下の空洞は発見できるのか

井上 浩一 議員

- ・農業用水路の維持管理は
- ・地域公共交通の充実
- ・带状疱疹ワクチンの助成拡大

服部 幸令 議員

- ・村長就任後8カ月の成果は
- ・財政破綻回避に向けた菊井村政のビジョンは

徳丸 初美 議員

- ・道の駅と周辺環境整備について
- ・村道の中央線や路側線の補修を
- ・公共交通空白地域から役場への移動手段を
- ・通学路の安全を

吉田 昭之 議員

- ・タクシー券の拡充について
- ・未来協議会について
- ・若い世代との意見交換について

藤浦 稔 議員

- ・村の診療所について
- ・「災害備蓄」状況は
- ・村農業施策に関する意見書への対応

vol. 152
May 2025
3月定例会

2月臨時会 議決結果

○全会一致で可決された案件

議案名	主な内容
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第12号）	物価高騰対応重点支援地方交付金の増等

3月定例会 議決結果

○全会一致で同意された案件

議案名	主な内容
教育委員会教育長の任命について	大門和喜氏を任命同意

○可決された案件（賛成5人。反対0人、欠席 吉田議員）

議案名	主な内容
千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の改正について	関係法令の改正に伴う所要の改正
職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の改正について	
職員の旅費に関する条例の改正について	
千早赤阪村下水道条例の改正について	
千早赤阪村消防団員等公務災害補償条例の改正について	
千早赤阪村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の改正について	
千早赤阪村議会の個人情報の保護に関する条例の改正について	
千早赤阪村報酬及び費用弁償条例の改正について	鳥獣被害対策実施隊員の日額報酬を2千円から3千円に改正
一般職の職員の給与に関する条例の改正について	令和6年人事院勧告に伴う所要の改正
千早赤阪村国民健康保険条例の改正について	国民健康保険料の徴収猶予期間を最長1年となるように改正
令和6年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	過年度分の補助金に係る返還金の増等
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第6号）	保険給付費の増等
令和6年度千早赤阪村後期高齢医療特別会計補正予算（第1号）	後期高齢者医療保険基盤安定納付金確定による減
令和6年度千早赤阪村下水道事業会計補正予算（第1号）	企業債の限度額の財源更正
令和7年度千早赤阪村一般会計予算	詳細は特集ページを参照
令和7年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算	
令和7年度千早赤阪村介護保険特別会計予算	
令和7年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算	
令和7年度千早赤阪村下水道事業会計予算	
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第14号）	繰越明許費の追加【千早赤阪村防災用直流電源装置修繕業務】（部品の調達が次年度になるため）
千早赤阪村議会委員会条例の改正について	常任委員会の名称及び所管事務の変更
性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書について	詳細はホームページを参照
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第1号）	新教育長の人件費の増等

○賛否の分かれた案件

各議員の審議結果 ○・・・賛成 ●・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 議・・・議長	結 果	千福 清英	井上 浩一	徳丸 初美	服部 幸令	吉田 昭之	田村 陽	藤浦 稔
・令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第13号）	原案 可決	議	○	○	●	欠	○	○

議長コラム



村議会議長

千福 清英

「お世話になっております」という、日常のあいさつに戸惑った若いころ、初対面の方にこのようなさまり言葉をかけられると形だけの虚礼に思えた。

ようやくそのような想いが消えたのが、人々のつながりに自分の日常が支えられていると思ひ、感じ至ってからである。

多くの若者が社会に出るこの時期が来ると、自身自身の若き日の欠けていたことが恥ずかしく思う。

IT大手アップルの創業者が残した言葉で、「感謝のところが人を育て、感謝の心が自分を磨く」が知られる。

感謝は人間関係を円滑にするが、時には感謝を巡り相手との関係が台無しになることがある。感謝が足りないなど相手をなじった対談はやるせない思いがする。いくらリーダーに自信があるうと、感謝の心が欠けていては、はたして安全な生活保障や信頼につながるだろうか。

さまざまな人々から感謝される状況を作ることがリーダーに求められている。

*報道記事を参考にしています。

今月の表紙



水分 泰仁 さん
(やすと) 6歳

父 大輔さん
母 蘭世さん

これからも元気にすくすく育ってね！！

議会だより掲載内容の一部訂正について（お詫び）

議会だより「ちはやあかさか」（第151号）の掲載内容について、次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

（訂正箇所） 3ページ「報告（不明な旅費）」の冒頭部分

正	誤
議会だより150号で掲載しました	議会だより151号で掲載しました

（訂正箇所） 11ページ「藤浦議員一般質問」の農業地域計画の完成年度

正	誤
令和6年度に完成の予定	令和7年度に完成の予定

当初予算特別委員会質疑

（地籍調査事業【森屋北部地域】）

問 地籍調査負担金を活用した事業とは。

答 登記上の村地図は古く、現状と乖離している。境界紛争・災害復旧の遅延等の恐れがあり対応の為にを行う。

（副村長人事）

問 副村長は、大阪府に依頼しているのか。

答 大阪府も含めて、いろいろな関係者と協議している。

（シティプロモーション事業）

問 現在、村インスタグラムの発信が止まっている。状況を伺う。

答 現状できていない。今後、発信に向けて努力していきたい。

（ふるさと応援寄附金事業）

問 令和7年度の予定数が倍の800件になっているが達成できるのか。

答 様々な商品を追加し寄付金を増やしたい。

（児童・生徒招待業務委託料）

問 万博への児童・生徒の招待負担金とは。

答 村内の4歳から高校生までの全児童・生徒のチケット代ということで、申込みがあった場合に支払うもの。

問 生徒招待等について、自治体負担が発生するのか。

答 学校での無料招待は、府の事業である。今回の予算は、家族等で万博に行く場合に4歳から高校生までの児童・生徒分を村で負担する費用。

（いきいきサロンやまゆり建替検討事業）

問 いきいきサロンやまゆり建替検討事業は。

答 二、三年掛けて、その事業費も含めて整理する必要がある。

問 建替えるのは確実なのか、別の選択肢はあるのか。

答 建替えを前提にしているが、現状では複数の選択肢がある。

（紙おむつ、育児ミルク等の補助）

問 申請の簡素化はできないのか。

答 レシートを集めて、半年に一度窓口で請求してもらっている。ご理解をいただきたい。

問 保健師が直接家にいくことで、お母さんの悩みを聞けるのでは。

答 産後に保健師が新生児訪問を行い、子どもの健康状態を確認している。

（有害鳥獣被害対策事業）

問 有害鳥獣被害防止対策補助の上限を引き上げたが、いくら増額したのか又財源は。

答 前年度から30万円増額し、財源は全て一般財源となる。

（村道調査業務委託料）

問 2千380万円が計上されているが、調査対象は。

答 村道の橋梁（30橋）の点検及び長寿命化計画の見直しを行うための費用。

（中学校のトイレ改修事業）

問 令和6年度にも予算があるが、令和7年度との兼ね合いは。

答 令和6年度は一部だが、令和7年度は全面改修となる。

国民健康保険特別会計

（千早診療所改修工事）

問 改修工事の内容は。

答 床面や外の本枠が老朽化しており、必要最小限の補修を行う予定。

介護保険特別会計

（介護給付費準備基金繰入金）

問 繰入金が増になっているが、歳出（給付金）の増を見込んでいるのか。

答 給付金の増を見込んでいる。

下水道事業会計

（下水道関係工事）

問 工事の今後の予定は。

答 下水道の区域見直しを検討している状況。

服部 幸令 議員 (服部会)

Q

菊井村長は村の将来像の具体的なイメージを持っているのか持っていないのか

A

村民とともにつくる安心して暮らせる村づくりに邁進していく

吉田 昭之 議員 (自民党・無所属の会)

Q

中学校のトイレの全面改修の内容は

A

1階トイレの全面改修を予定

Q

習い事助成制度の創設は

A

他の子育て世帯の経済的負担軽減策をすすめており、この件については検討に至っていない

徳丸 初美 議員 (共産党)

Q

農道整備事業を保留とした経緯は

A

当初の計画より事業費が上がり、保留とした

Q

18歳医療費無償化について、今後の試算額や実施時期は

A

約200万円の増加が見込まれ、令和8年度以降の実施を予定

田村 陽 議員 (平政会)

Q

小学校の統合問題について、今後の対応は

A

保護者アンケートを実施し、協議に向けた準備を進めている

Q

ふるさと応援寄付金を増やすべく、村長の考えは

A

新たな返礼品の開発など、千早赤阪村ファンを増やすようPRに努めていく

井上 浩一 議員 (公明党)

Q

事業実施に向けて、どのような思いや考えで推進されるのか

A

短期、中期、長期の対応方針を定め、村民の皆さんに直結する施策を優先する

Q

合併について、どのように検討され、議論するのか

A

合併部会を設置し、住民アンケートを実施する



マイナンバーを利用したコンビニ交付は



早期に実施できるよう積極的に取り組む



田村 陽議員



総合案内所窓口

問 住民からコンビニで千早赤阪村だけ住民票を取得できないとの声があったが。

答 早期に実施できるよう積極的に取り組む。

問 役場の総合案内係としてコンシェルジュを設置しては。

答 住民課に総合案内窓口を設定し、分かりやすい表示を行いたい。

コンシェルジュの設置を

現在でも村ホームページからオンライン申請で、郵便にて住民票等を受け取ることもできる。

消防団は存続できるのか

問 消防団員の確保にこの地区も苦心している。人口減少により負担が増すことを考えると、消防団のあり方についても今後検討していく必要があるのではないか。

答 人材確保に向けた広報やPRを村として行うなど検討していきたい。

要望 役場としても地区の実情を理解して、ともに考えてほしい。

メディアリテラシー教育の重要性

問 情報をうのみにせず主体的に解読する力、すなわちメディアリテラシーの育成を積極的に進めていく必要があると思うが。

答 複数の情報源を比較すること、情報の出典や発信元を調べることもな

村道下の空洞は発見できるのか

問 埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故と同様の事故は本村でも発生し得るのか。

答 村内には大口径の管路施設は存在せず、同規模の事故は起こらないと考えている。

要望 特に小吹台の下水道管路は布設から50年が経過している。今後定期的な調査をお願いしたい。



村ホームページ「オンライン申請」から住民票など申請できます

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



井上浩一 議員

問

農業用水路の維持管理は

答

国の動向を注視していく

問 水路については過去にも質問したが、前回答弁の組合等の管理者の把握についての進捗状況はどうか。また、国の施策、「地方創生2.0」を村の環境を生かし水路保全と環境保全を絡めて取り入れ



畑田水路

るようなことは可能ではないのか伺う。

答 管理者の把握に苦慮している。政府の取り組みについては動向を注視する。

問 水利は農業の要だが旧来の慣習により維持されている。周りの環境は大きく変化し農業の振興の足かせになっているように感じる。農業委員会等活動されているが、連携等はされているのか。

答 農業委員会は主に農地の利用最適化が業務だが、その他各組合等と連

携している。

要望 都市部との2拠点活動をされるような方を募り、村が支援するような環境運動等を水路やその他事業に結び付けられるような機運醸成を願う。

地域公共交通の充実

問 バス路線の維持だけでは解決しない交通弱者の方が取り残されているが支援についての考えを伺う。

答 適宜対応は必要だが、現在は実証実験等を踏まえ利用料助成事業を実施している。バス路線維持を基本にその他事業を推進する。

問 村バス運営は運行委託業者と役場職員が行っているが、不慣れで職員の負担は大きい。過去にもチーム体制で出来ないか等の意見が出たが現況を伺う。

大阪狭山市では社会福祉協議会が高齢者移動支援事業の実証実験を行っている。実例として一部でも取り入れることは出来ないのか伺う。

答 都市整備課が所管し事業遂行に努めている。安定運営の為に組織充実は重要だ。

本年4月より組織の見直しを行い、円滑な運営を目指す。指摘の点については社会福祉協議会と連携し調査研究する。

問 早期の対応を願う。また、調査研究の経過と結果を報告は出来るのか。

答 関係部署と連携し、状況に応じて情報提供に努める。

要望 状況を見守りたい。府や国への積極的な要望も必要だ、「だれひとり取り残さない」社会を目指して。

带状疱疹ワクチンの助成拡大

問 本年4月より定期接種が決まっているが、対象外の方等へ助成の拡大は考えていないのか。

答 59歳以下の方に対しては、ワクチンの安定供給体制や他の動向を踏まえ検討する。

実施期間	4月1日～令和8年3月31日
対象者	①千早赤阪村に住民登録があり、令和7年度内に65歳を迎える人 ②60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある人（身体障がい者手帳1級または同程度） ※令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に70、75、80、85、90、95、100歳になる人も対象となります。 ※令和7年度に限り、100歳以上の人は全員対象となります。 ※対象者は年度により異なります。接種の機会を逃さないようにご注意ください。
場 所	指定医療機関（千早赤阪村・富田林市・太子町・河南町） ※指定医療機関以外での接種は全額自己負担になります。

高齢者带状疱疹ワクチン定期接種

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



村長就任後8カ月の成果は



育児用ミルクの購入費助成等を実施した



服部幸令 議員

千早赤阪村財政シミュレーション結果

	公共施設整備 基金残高	財政調整 基金残高
R7	253	1,474
R8	228	1,295
R9	203	1,031
R10	178	827
R11	153	481
R12	128	226
R13	103	150
R14	78	11
R15	53	-77

(単位：百万円)

大阪府富田林土

問 村長が就任してから、約8カ月が経過した。この間、公約実現のためにどのような取り組みを行い、どんな成果が得られたのかを伺う。

答 今年度は、村長の給与・退職金の減額を実施、2歳までの紙おむつや育児用ミルクの購入費助成を実施、高齢者のコロナワクチン接種費用の助成を実施、通学路の安全確保

問 その他事業の準備とは、具体的には。

答 また、産業振興等の施策のうち、道路等のインフラ整備、道の駅等活性化、農業振興等に関しては府土木事務所や農と緑の総合事務所との連携、調整が不可欠だと思われるが、それが行われた形跡は見当たらないが。

問 その他事業について、高齢者等のゴミ出し支援事業や中学校トイレ改修事業をはじめとする各施策の準備を進め、令和7年度当初予算案として示しているものや、今後の実現に向け準備している。

保（グリーンベルト）を施工、いきいきサロンやまゆり建替支援業務を履行するとともに利用者等との座談会を開催、その他事業についても実施に向け準備を進める。

問 府との連携、調整は、具体的な分野において大阪府と連携調整し、各種の課題や問題の解決に取り組んでいる。

答 「府との連携、調整」は道路の維持管理等ルーティン業務についてではなく、村の活性化や村内外をつなぐ、広域インフラに関する府関係機関との協議について、それが行われている形跡がないばかりか、それに向けての連絡、調整もやっていないように見えることを指摘している。

そこで、府の力を借りずには進めることができない事業、もしくは、府で進めてもらわなければいけない事業を進めている。

木事務所には、先般も通学路である府道富田林五条線の補修を依頼したところ早速に対応された。

また、農業振興では地域計画作成に対して、農と緑の総合事務所にも協力いただいている。

村の各担当部課では、様々な分野において大阪府と連携調整し、各種の課題や問題の解決に取り組んでいる。

問 昨年12月に「千早赤阪村財政シミュレーション」が示された。これによると令和7年度からは収支過不足がマイナスイメージとなり、令和15年には、財政調整基金残高がマイナス7千700万円、累積収支もマイナスになるとの試算表が示されている。

答 大阪府に対しては、村の厳しい財政状況等と踏まえ、村の活性化等について支援を求めている。

財政破綻回避に向けた菊井村政のビジョンは

くために、必要な動きをこの8カ月間でどれだけやってきたのかということとを改めて伺う。

答 大阪府に対しては、村の厳しい財政状況等と踏まえ、村の活性化等について支援を求めている。

要望 答弁は、具体的な内容を伴っていない。例えば「企業誘致による税収増」とは、どの地域の、どれくらいの規模の企業を何社ぐらい誘致するのか、また税収増が見込まれるのか。「受益者負担の適正化」ではどうなのか。「事務事業の見直し」、「財産の適正管理と有効活用」も何を進めようとしているのか、また、これによって得られる経費削減効果は、等々具体的な中身がない。これ以上、繰り返しても何も得られないので質問を終える。



徳丸初美 議員

問

道の駅と周辺環境整備について

答

今後村民や関係機関と議論をしていく

問 当村の道の駅は家族連れやペット同伴の利用者が多く、周辺施設の充実が望まれる。安全で自然を感じられる遊び場が必要と思うが、考えを伺う。

答 村にとってどのような整備が最適なのか、今後村民や関係機関と議論をしていく。



道の駅「ちはやあかさか」

要望 自然を感じられる遊び場を早めに整備願う。

村道の中央線や路側線の補修を

問 村道の中央線や路側線が消えかかり、中央線を超える車両もあって危険だ。補修について伺う。

答 村道に設置されている中央線や路側線は、舗

装の老朽化や埋設管敷設跡など、舗装工事の際に併せて実施している。

国、府道についても、危険であると判断した際には大阪府に要望していく。

問 東阪から役場付近の水道工事後、埋め戻し跡の補修はどうなるか伺う。

答 千早赤阪水道センターからは基本的に現況復旧を行うもので、舗装復旧については水道管が埋設された車線部分の舗装復旧を行い、もともと設置されている路側線等についても復旧すると聞いている。

要望 役場前の府道は傷みが目立つ。府道全体の舗装を大阪府に要請し、時期を公表願う。

公共交通空白地域から役場への移動手段を

問 免許返納者が増え、役場や公共施設への移

動に困る人が増加。アクセス検討を願うが、村の考えを伺う。

答 公共交通の維持確保のための様々な手法を模索するなど、引き続き将来にわたって利用できる持続可能な公共交通体系の構築を検討していく。

問 小吹台地区も高齢者が増加。役場との移動手段を伺う。

答 地域間における移動手段についても検討していく必要があると認識している。

要望 住民の声を聞き、移動手段を早急に検討願う。

通学路の安全を

問 通学路にグリーンベルトやグレーチングがない村だ。住民の声を聞いたと感じられれば、信頼関係が生まれ、居心地のいい村になる。

答 村立学校においては、日頃から教職員による通学路の危険箇所点検を行い発見した場合には、道路管理者に改善の要望を行うなど、安全確保に努めていく。

要望 千早赤阪村は小さな村だ。住民の声が届いたと感じられれば、信頼関係が生まれ、居心地のいい村になる。



水分延命寺線のグリーンベルト



タクシー券の拡充について



更なる拡充の必要性なども検討

年度 千早赤阪村地域公共交通利用料助成事業 利用券
交付番号
¥500円 有効期限 令和8年3月31日まで

・乗車・サービス券等の購入時に利用登録証と本券を乗務員又は購入窓口へ提示してください。
・本券は、切り離さずに、乗務員又は購入窓口へ渡してください。
・本券は、1回の乗車又は購入につき、3枚まで使用できます。
・本券は、現金でできません。また、お釣りは出ません。

千早赤阪村長

使用日 年 月 日 乗務員 ☐ 近鉄タクシー南 ☐ 大阪第一交通南 ☐ 南海バス南

利用区間 千早赤阪村

年度 千早赤阪村地域公共交通利用料助成事業 利用券
交付番号
¥500円 有効期限 令和8年3月31日まで

・乗車・サービス券等の購入時に利用登録証と本券を乗務員又は購入窓口へ提示してください。
・本券は、切り離さずに、乗務員又は購入窓口へ渡してください。
・本券は、1回の乗車又は購入につき、3枚まで使用できます。
・本券は、現金でできません。また、お釣りは出ません。

千早赤阪村長

使用日 年 月 日 乗務員 ☐ 近鉄タクシー南 ☐ 大阪第一交通南 ☐ 南海バス南

利用区間 千早赤阪村

千早赤阪村地域公共交通利用料助成事業
利用券

問 現在、タクシー券は75歳以上の村民の方が申請することにより交付されているが、交付条件以外の一般家庭の方が申請されても交付されるようにできないかを伺う。

答 タクシー券の対象者

要望 通学における定期券補助の創設などを検討するということに対して、子育て世代にはすぐくありがたい。また、先に述べたタクシー券の拡充についても、住民負担



吉田昭之議員

の拡充については、さらなる拡充の必要性なども検討すべきものと考えている。バス利用を促進するための支援として、通学における定期券補助制度などの創設などの検討を進めていきたいと考えている。

未来協議会について

が軽減できるように前向きに考えてほしい。

問 本村は、太子町、河南町とともに、南河内2町1村の未来協議会を設置しているが、その中で広域連携部会と合併部会の進捗状況を伺う。

答 広域連携部会では専門人材確保と採用試験の共同実施、給食センターの将来的な集約化の検討等に取り組んできた。合併部会は2町1村の現状や課題、人口等の将来予測について整理し、情報発信を行った。また、地域の現状や将来像について、住民の皆さんとともに、住民アンケートのほ

うも実施した。

要望 合併部会が設置されたということは、2町1村の合併も視野に入っているとされるが、村の皆様の未来のため、ま

た村民の方の意見を重視した上で進めていくことを要望する。

若い世代との意見交換について

問 若い世代の子どもたちは、大人の固定観念を覆すような斬新な考えを持っている。今後、千早赤阪村のためにも若い世代を取り入れなければならぬ。そのため村と若い世代の交流の場をつくっていただきたいが、

答 村政を進めていく中で、若い人の意見を聞くことは大変重要だと考えている。若者と一緒にこれからの村を考えていきたい。

要望 私も小吹台の夏祭りでは若い世代と交流し、たくさん意見と、パワーをいただいた。今後の村の発展には、若い力が必要だ。ぜひ若い世代の意見を取り入れて、より村づくりに力を注いでほしい。

ほしい。



南河内地域2町1村未来協議会の様子



藤浦 稔議員

問 村の診療所について

答 村に根ざした医療体制を構築する

問 村診療所の指定管理者として、金剛病院や訪問看護ステーションなど医療から介護・在宅生活に至るまで様々なサービスを提供する医療法人「正清会」が指定され、村にとって心強い限りである。

答 診療所は、現状の内科・小児科に加え、整形外科や神経内科など新たな診療や土曜診療も検討し、充実した医療サービスを考えている。

「正清会」と連携し、より村に根ざした医療体制を構築していき安定し

た医療サービスを提供していく。

問 新たな診療科目も検討することのことであるが、診療時間や診療科目は。

答 これまでに加え、土曜日の午前診療も行う予定で調整し、診療科目などは確定しだい広報誌などで情報提供していく。

要望 しっかりPRし、安定的な診療所運営ができるよう対応してほしい。

「災害備蓄」状況は

問 政府は能登半島地震を踏まえ、自治体に対し災害備蓄状況の公表を義務付ける方針である。

村の災害備蓄状況と公表への対応は。

答 3日分の備蓄品を確保し、適正な管理に努めている。

村ホームページや広報誌において公表すること

を考えている。

問 避難所生活における課題に、村ではどのような対策を考えているのか。

答 自動ラップ式トイレの導入及び大阪府より簡易水洗トイレを7基配備予定。

要望 継続的な地域防災活動ができるよう支援をしっかりと願う。

村農業施策に関する意見書への対応

問 昨年12月に村農業委員会から「令和6年度千早赤阪村農業施策に関する意見書」が提出された。12月議会でも「地域計画の進捗状況」などを伺ったが、今後の村の農業施策の対応は。

答 「有害鳥獣対策」など5項目についての意見書が提出された。

今後、農業委員会と連携を図りながら、農業課題の解決に向け取り組ん



災害備蓄品の保管状況

でいく。

問 「意見書」に基づき令和7年度からの取り組みについて伺う。

答 「有害鳥獣対策」では、農業者の負担軽減として被害防止柵設置補助金を拡充していく。

今後、農業委員会、実行組合と連携し、農業施策の充実に努める。

要望 今後も農業委員会と意見交換し、課題解決に取り組んでほしい。

ぎ か い の 窓

2月19日 炊き出し訓練の視察

小吹台地区の「いきいきサロンやまゆり」で、第3回千早赤阪村炊き出し訓練に参加しました。



炊き出し訓練

当日は、大阪公立大学の学生もボランティアとして参加し、老若男女問わず協力してカレーを作りました。カレーの調理台の横では、非常用保存食の「アルファ化米」に熱湯を注ぎ入れ、食べられる状態にしました。調理後は当施設の2階で、参加者で試食しました。常食のカレーと比較しても、まったく遜色がありませんでした。調理中、火の扱いやコンロ周りに風よけが必要なのは、等の様々な意見交換がされ、非常に有

意義な訓練になったと感じました。

「備えあれば憂いなし」の格言どおり、このような取り組みを継続して行なって欲しいものです。

3月11日 自動運転バスが到来

大阪・関西万博後に、南河内地域に導入が予定されている、自動運転バスが本村に来ました。

当日、職員の中には、自動運転バスの中を実際に見たことがない方もいて、興味津々で見学をしていました。

運転手が同乗しない自動運転バスはすぐには普及しないと思われますが、日本全国で自動運転の実証実験が行われています。それらの多大な実験データから、一日も早く自動運転がバスだけではなくタクシー等にも普及することを願うばかりです。



自動運転バス

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か



次 回 議 会 の 予 定

○5月中旬 臨時会

○6月18日(水)～定例会

6月18日(水) 本会議 初日(議案上程) 午前10時
6月19日(木) 本会議 2日目(一般質問) 午前10時
6月20日(金) 村づくり常任委員会及び予算常任委員会 午前10時
6月27日(金) 本会議 最終日 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。傍聴される場合は、議会事務局までご確認ください。1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑 感

兵庫県斎藤知事の内部告発文書をめぐり、3月19日に第三者委員会から知事のハハラを認める報告書が提出されたとの報道がありました。先立つて行われた兵庫県知事選では投票率が前回の41・1%から55・65%へと約15%も上昇しており、平成元年以来の高投票率となったようです。その背景にはYouTube・TikTokなどの動画サイトの影響があったと言われています。

総務省調べでは今の子どもたちがテレビや新聞に触れる時間は年々減少しており、反対にSNSに触れている時間が増加しています。そのような状況を見ると、今後もSNSに大きく左右される時代が続くように思われます。

しかし識者からも指摘されているように、SNSでは真偽不明な情報が大量に拡散再生産されています。そのような状況ではたして民主主義は正しく機能するのでしょうか。日本の民主主義が今重要な岐路に立たされているように感じています。

田村

広 報 編 集 委 員 会

委員長	服部幸令	副委員長	田村 陽
委員	井上浩一	委員	徳丸初美
委員	吉田昭之	議長	千福清英